



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

東

上場会社名 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 上場取引所
 コード番号 4828 URL <http://www.to-be.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大澤 正典
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務管理本部長 (氏名) 片山 博 (TEL) 03-3510-1600
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,918	△0.2	164	10.5	164	12.3	96	46.3
27年3月期第2四半期	5,931	1.2	148	△13.2	146	△6.4	65	△12.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 96百万円(46.3%) 27年3月期第2四半期 65百万円(△12.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	16.05	—
27年3月期第2四半期	10.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,910	3,155	53.4
27年3月期	5,839	3,101	53.1

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,155百万円 27年3月期 3,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	0.5	420	11.5	420	12.9	220	9.6	36.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	6,000,000株	27年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	534株	27年3月期	524株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	5,999,474株	27年3月期2Q	5,999,480株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、景気は緩やかな回復が続いています。

情報サービス産業におきましては、情報化投資全体としては堅調に推移することが期待されますが、顧客の情報化投資姿勢は必ずしも一様ではなく、当社グループの事業環境には引き続き注視が必要です。

このような状況のもと、当社グループは、コンサルティングサービス、ソフトウェア製品、システム構築、運用・保守サービス、クラウドサービス等、顧客の経営課題解決に貢献する付加価値の高いソリューションの提供に努めました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高6,274百万円(前年同四半期比13.8%増)、売上高5,918百万円(前年同四半期比0.2%減)となりました。利益面につきましては、不採算案件の発生により売上総利益は減少したものの、一般管理費等が前年同四半期比減少したことから、営業利益164百万円(前年同四半期比10.5%増)、経常利益164百万円(前年同四半期比12.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は96百万円(前年同四半期比46.3%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①ソリューション事業

他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築につきましては、顧客のグローバル展開支援や情報の可視化を図る複合型ソリューションの提供を推進するとともに、新規領域のソリューションの提供にも積極的に取り組みました。不採算案件が発生いたしましたが、受注および売上は前年同四半期比増加いたしました。当セグメントの受注高は4,000百万円(前年同四半期比21.3%増)、売上高は3,667百万円(前年同四半期比4.8%増)となりました。

②プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「MCFrame」および「A.S.I.A.」につきましては、引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図り、ライセンス販売に注力いたしました。また、クラウドサービスの提供や有力製品との連携、顧客のグローバル展開の支援力強化に取り組みました。当セグメントの受注高は2,135百万円(前年同四半期比2.8%増)、売上高は2,084百万円(前年同四半期比7.9%減)となりました。ライセンス売上高は846百万円(前年同四半期比1.2%増)となりました。

③システムサポート事業

東洋ビジネスシステムサービス株式会社が展開する運用・保守等のシステムサポート事業につきましては、引き続きシステムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は138百万円(前年同四半期比0.3%増)、売上高は166百万円(前年同四半期比2.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産の部)

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末と比較して51百万円増加し、4,054百万円となりました。なお、当第2四半期連結会計期間末の総資産に占める流動資産の比率は68.6%であります。

また、固定資産につきましては、無形固定資産の取得が有形固定資産及び無形固定資産の減価償却を上回ったことにより、前連結会計年度末と比較して19百万円増加し、1,855百万円となりました。

これらの結果、資産の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比較して70百万円増加し、5,910百万円となりました。

(負債の部)

負債の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末と比較して16百万円増加し、2,754百万円となりました。

(純資産の部)

純資産の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる増加、剰余金の配当による減少等により、前連結会計年度末と比較して54百万円増加し、3,155百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して0.3ポイント増加し53.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して200百万円減少し、424百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益164百万円を計上し、減価償却費309百万円、仕入債務の増加71百万円等が、売上債権の増加212百万円等を上回ったことにより、全体として176百万円の収入(前年同四半期155百万円収入減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得及び無形固定資産の取得(自社開発ERPパッケージ「MCFrame」の開発投資等)による支出等により、全体として334百万円の支出(前年同四半期19百万円支出増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払による支出等により、全体として41百万円の支出(前年同四半期17百万円支出減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は平成27年5月11日公表の予想値より変更ありません。

なお、当社グループの業績特性としましては、受注案件の納期が各四半期末に集中する傾向があり、特に第2および第4四半期末にはこの傾向が一層顕著となります。このため、各四半期毎に業績は変動し、特に第2および第4四半期に大きく変動します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	625,336	424,842
受取手形及び売掛金	2,410,760	2,623,038
仕掛品	311,820	407,492
その他	655,600	599,443
流動資産合計	4,003,518	4,054,817
固定資産		
有形固定資産	155,726	141,291
無形固定資産		
ソフトウェア	1,127,904	1,162,588
その他	91	59
無形固定資産合計	1,127,996	1,162,647
投資その他の資産		
その他	557,891	557,053
貸倒引当金	△5,499	△5,499
投資その他の資産合計	552,391	551,553
固定資産合計	1,836,115	1,855,493
資産合計	5,839,633	5,910,310
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	286,281	407,099
短期借入金	500,000	500,000
未払法人税等	15,492	86,305
前受金	593,539	620,091
賞与引当金	496,688	510,625
品質保証引当金	12,223	12,207
受注損失引当金	69,414	50,776
その他	764,724	567,660
流動負債合計	2,738,363	2,754,767
負債合計	2,738,363	2,754,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	697,600	697,600
資本剰余金	426,200	426,200
利益剰余金	1,977,695	2,031,982
自己株式	△225	△239
株主資本合計	3,101,270	3,155,543
純資産合計	3,101,270	3,155,543
負債純資産合計	5,839,633	5,910,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,931,834	5,918,091
売上原価	4,166,490	4,239,653
売上総利益	1,765,343	1,678,438
販売費及び一般管理費	1,616,542	1,514,005
営業利益	148,800	164,433
営業外収益		
受取配当金	-	1,993
為替差益	144	-
その他	201	583
営業外収益合計	345	2,577
営業外費用		
支払利息	2,412	2,048
為替差損	-	125
その他	-	7
営業外費用合計	2,412	2,181
経常利益	146,733	164,829
特別損失		
投資有価証券評価損	-	166
固定資産除却損	64	-
特別損失合計	64	166
税金等調整前四半期純利益	146,669	164,662
法人税等	80,868	68,379
四半期純利益	65,800	96,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,800	96,282

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	65,800	96,282
四半期包括利益	65,800	96,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,800	96,282
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	146,669	164,662
減価償却費	320,845	309,354
賞与引当金の増減額(△は減少)	△109,245	13,936
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,000	-
品質保証引当金の増減額(△は減少)	114	△16
受注損失引当金の増減額(△は減少)	-	△18,637
受取利息及び受取配当金	△17	△2,005
支払利息	2,412	2,048
為替差損益(△は益)	△144	125
固定資産除却損	64	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	166
売上債権の増減額(△は増加)	373,312	△212,319
たな卸資産の増減額(△は増加)	△161,804	△95,671
前渡金の増減額(△は増加)	95,740	41,787
仕入債務の増減額(△は減少)	△113,572	71,277
前受金の増減額(△は減少)	11,153	26,552
その他	9,322	△151,612
小計	544,849	149,648
利息及び配当金の受取額	27,502	2,005
利息の支払額	△2,412	△2,049
法人税等の還付額	1,950	31,992
法人税等の支払額	△240,696	△5,580
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,194	176,016
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,918	△11,117
無形固定資産の取得による支出	△282,179	△323,043
その他	△3,397	△778
投資活動によるキャッシュ・フロー	△315,496	△334,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△57	△13
配当金の支払額	△59,286	△41,501
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,344	△41,515
現金及び現金同等物に係る換算差額	157	△56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△43,488	△200,494
現金及び現金同等物の期首残高	609,390	625,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	565,901	424,842

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。